

幸せな老後

辰村 泰治

(やどかり研究所副代表)

私は78歳になりますが、今から56年前に統合失調症を発病しました。2つの精神病院に4回出入りし、いろいろな方のお世話になりました。やどかりの里に来る前はよく再発したんですけれども、17年間、統合失調症を再発することもなく、おかげさまで幸せな老後を送らせていただいていると思います。

よくお世話になった人から「辰村さん、貴方17年間も再発しないというのはどういうわけだ」と言われます。それは、やどかりの里のいわゆる3点セットのおかげです。住む所、働く所、それから憩いの場所の3点です。私は今、やどかりの里のグループホームで暮らしていますし、仕事のほうも、エンジュというお弁当を作る施設で働いています。憩いの場所ですが、いちばんは自分の部屋です。病院と違い、自分の部屋に自分の鍵を持って入り、自由に好きなテレビ番組も見られるので、恵まれた生活を送っていると思います。

そして、17年間やどかり研究所の会員でもあります。研究所では、皆さん我々統合失調症の患者について勉強されています。病気についての理解もあり、ほんとうに有難い所だと思っています。今日もまた、やどかりの里の皆さんや、いろんな人たちのお話を聞けるのを楽しみにしています。